

病院名 国立病院機構京都医療センター

場所 京都市伏見区 京阪藤森 徒歩 5 分

山田 茂 (S60) 山本 博史 (H1) 向井 章悟 (H4) 宮田 誠彦 (H6)
坪内 直也 (H16) 南 良輔 (H25) 高橋 基 (H31) 樋謙作 (R2)

キーワード： 脊椎外科 人工関節 手の外科/マイクロサージェリー
スポーツ医学センター 自家骨軟骨移植

3 次救急病院

京都市南部から山城地域の基幹病院 年間搬送数 3000 以上

スタッフ

山田 茂 (S60) 山本 博史 (H1) 向井 章悟 (H4) 宮田 誠彦 (H6)
坪内 直也 (H16) 南 良輔 (H25) 高橋 基 (H31) 樋 謙作 (R2)

専門医、指導医の有無

日本整形外科学会専門医・指導医、 6 名

施設認定

日本整形外科学会認定研修施設、

手術内容

2020 年手術件数 約 800 件

特徴：

人工関節は股関節、膝関節を中心に年間 約 150 件

脊椎外科は頸椎、腰椎の除圧、あるいは除圧固定術をハイブリッド手術室で行っている
必要に応じて多椎間固定や最小侵襲手術をも行っています。

マイクロサージェリー、手の外科は皮弁などの手術が中心

膝関節外科はスポーツ外傷や軟骨損傷に対して靱帯再建や自家骨軟骨移植、各種骨切り術
を行い、関節温存、スポーツ復帰を目指しています。

肩肘関節外科はスポーツ外傷、変性疾患に対して鏡視下手術、人工関節などから選択
スポーツ医学センターを併設し、スポーツ選手、スポーツ愛好家の復帰までのサポートだけ
でなく、スポーツ選手のメディカルチェック、少年野球選手の検診やスポーツ現場への帯同
などの活動を行っています

研修医であっても主治医として執刀していただきます。とくに外傷は緊急手術を含めて初診医が担当することが多い

初期研修医、レジデントは救急当直を月に数回 担当することが多く、当直明けは原則午後、休み

学会発表は研修医は年に 1.2 回を予定 出張費用は国内学会であれば病院負担

とくに骨軟骨移植の症例の発表は国内でもトップクラスです

